

## 【取組内容④】 ICTを活用した生徒情報の共有による、校内支援センター機能の充実



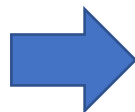
The screenshot shows a web-based interface for managing student information. It features a header with navigation icons and a main area with a grid of data. The grid has columns for student names, staff names, and various status indicators. Some cells are highlighted in yellow, blue, and green, indicating different levels of activity or status.

## 相談室登校、不登校傾向の生徒の情報を共有するためのディスプレイを設定

- ・各教員の端末などから、生徒のその日の学校生活の動きや約束を入力する。
- ・生徒の情報を教員全員が共有し、だれが対応しても同じ対応がとれる状況を生み出す。
- ・対応した教員が、その時の状況を入力し、教員全体でその日のことを共有し、翌日の動きに反映できるようにする。

上記：生徒情報の表示画面  
右記：生徒情報入力画面

全教員が  
生徒情報を把握



生徒に目を向ける  
意識の向上

「今日、〇〇さんは〇〇をするんだね」「〇〇さんが、△△を頑張っていましたよ」などの声上がり、関係生徒の情報を無意識に共有することにつながった。その結果、担当教員だけでなく、様々な教員が関わることによる多面的な関わりが生まれ、様々な情報共有ができるようになった。

◆口頭による伝達がなくなり、  
情報の共有が図られる。



生徒への対応後、対応した内容や生徒の状況を入力し、全教員が共有できるようにしている。